

## スーパーグローバルハイスクール(SGH)活動報告

### ★先進国の知見を学ぶ特別講義

#### ①「大阪の観光についての検証と戦略」 大阪観光局長 加納國雄先生

期末考査も終わり、三国丘高校名物の三丘(さんきゅう)セミナーが始まりました。各界で活躍されているトップランナーにお越しいただき、いろいろなお話を伺って知見を高めます。

SGH カリキュラムの一環としては、2名の先生にお越しいただきました。お一人目は大阪観光局長の加納國雄先生。加納先生は昨年から大阪観光局長として、大阪の、そして日本の観光振興のために奔走し、成果をあげられています。講義では、アメリカで過ごした若い頃の話、転職の話、そして大阪の具体的な観光戦略について詳しくお話しを伺うことができました。目標をかかげ、それをどう達成していくのか。問題解決のためには多角的に物事を分析すること、そして緻密な戦略を練ることなど、具体的なお話に三丘生も大変勉強になったことと思います。

また、質疑応答の時間には、アメリカ・ウォール街のマニファクチャラーズ・ハノーバー銀行証券会社マネージングディレクター兼副支店長→ロイヤルドルトン・ドッドウェル株式会社代表取締役社長→香港観光局長→大阪観光局長と様々な分野でご活躍されてきた先生にいろいろな質問が飛び出しました。

「どんな人材がヘッドハンティングされるのでしょうか？」

「SARS で香港の観光客が激減したとき、どのように対処したのですか？」

先生の解答の中にあつた、‘バランスのとれた、相手の要求をすぐに理解できる fast-learner’であること、また忍耐強く効果的に物事を解決すること・・・などはまさにグローバルリーダーに必要な要素ではないでしょうか。また、Asian Youth Orchestra のご優待もいただきました。音楽や美術などの芸術やスポーツに造詣が深いこともグローバルリーダーには必要ですね。本当に勉強になる講義でした。



#### ②「グローバルリーダーになるために～世界の中の日本／imec について～」

大阪大学 産業科学研究所 小倉基次先生

SGH 特別講義お二人目は、大阪大学産業科学研究所の小倉基次先生です。小倉先生は長年パナソニックで技術者として勤務され、その間ベルギーにある世界最先端の研究所 imec と深い関係を築かれました。現在は、文部科学省「革新的イノベーション創出プログラム(COI STREAM)」の拠点の1つとして、大阪大学と imec の共同研究(研究課題:人間力活性化によるスーパー日本人の育成と産業競争力増進/豊かな社会の構築)を進める企画推進室長としてご活躍されています。imec はもちろん、スタンフォード大学、金沢大学など国内外を飛び回っておられる小倉先生に、世界から見た日本の立ち位置、欧州での常識、imec の紹介など多岐にわたるお話をしていただき、グローバルリーダーとしての視点を学びました。また、「受験勉強の英語は役に立たないと思っている人がいるかもしれないけれど、仕事では英語で文章を書くことがたくさんある。話す英語は何とかなっても、文法だけは若いときに勉強しておかないとしんどい。

しっかりと文法を勉強しておきなさい。」という小倉先生の言葉に、英語の文法を学ぶモチベーションがあがった人もいたよう。がんばりましょう！

質疑応答では、「ホワイト国って何ですか？」など高校生では使う機会のない用語についての質問が出たり、上記の大阪大学とimecの共同研究についてもご説明いただきました。imecは世界600社が出資しているNPO団体です。SGHでは夏休みの課題としてNPOについて勉強しますが、NPOの役割や可能性を感じる一歩になってもらえればと思います。また、将来世界中の研究者と肩を並べてimecで活躍する研究者が三丘生から出たら、本当に嬉しいです。

